

当社では、全社員が参加する社内イベントが年に3回あります。その中の納涼会が7月21日（金）に開催されました。納涼会は、暑い夏の暑さを一時でも忘れ、飲んで涼をとり、社員同士のコミュニケーションを促進するために実施しています。今回の納涼会はコロナ禍以降、4年ぶりの開催となります。また、準備は新入社員を中心とした「なんでもこい会」がイベントの企画や司会進行、くじ引きの景品の手配まですべて担当します。そうした事前準備もあり、今年の納涼会も大盛況で閉幕しました。

すでに暦の上では秋となりましたが、まだまだ暑い日が続きます。おいしいご飯や飲み物で涼を取るのも良いのではないのでしょうか。



共に創り、共に感じ、共にミライへ  
we'll  
WITH INOUE  
意志あるところに 道は拓ける

# 井上通信



### 上岡取締役の一言

みなさん こんにちは 2023年7月20日（木）高知新港にCMA CGM（CNC社）の新規定期コンテナ航路が就航いたしました。今回の新規航路が就航したことにより、CMA CGM様の国際的なネットワークを活用し、高知新港からアジアをはじめ、欧米やオセアニアなど、世界中の航路と接続できることになりました。この新規航路就航により高知から世界の国々が大変近くなりました。この機会を活かし弊社では更なる海外販路拡大を目指します。



## 井上のお石灰な話

## ～ 当社の歴史 ① ～

当社は、現在より139年前、1884年（明治17年）に高知県南国市稲生にて井上卯太郎が個人商店として創業。その後1960年（昭和35年）に改組し現在の社名となりました。創業の地である稲生では、古くは、良質な石灰石が産出される稲生鉾山を擁し、産業として成り立っていたことから「石灰の町」として栄えました。その歴史の足跡として稲生地域には、現在でも石灰会社が多く位置しております。

この特集は、当社の変遷と「石灰の町」稲生の石灰産業の成り立ちを見比べ、お石灰ながら井上石灰工業の歴史としてご紹介します。



わしは、こじやんち有名！

### 土佐の方言紹介

## 「こじやんと」

とても、すこく、の意。  
例えば、暑い夏の仕事終わりにビールを一口飲んだ時：「このビールは、こじやんと冷たくてうまい！」のように何かを強調するときに使います。また、中には「こじやんち」という人もいますが、意味は同じです。  
今号より、土佐の方言を紹介して参ります。ぜひ、県外に拠点のあるお取引先様は、当社の社員と面談する際に使ってみてください。高知県民でこんな使い方は、せんちゃ」と思った方はごそり内緒で教えてください！



皆さん、この夏「山北みかんワイン スパークリング」が新登場！みかんの酸味に炭酸が加わり、すっきり、爽やかなノド越しの辛口に仕上がっています。暑い日にキンキンに冷やしてお食事と一緒に楽しみてください！いずれも井上ワイナリーのいち醸造所&SHOP、オンラインストアでご購入いただけます。山北産みかんのワインで2023年の夏もお楽しみください！



井上ワイナリー だより